

# 輝け子どもたち

令和6年2月15日  
南部中学校区  
小中連携生徒指導部会

新年早々に能登半島地震が起き、大変なスタートとなった令和6年ですが、早くも1か月以上が過ぎました。まだまだ寒い日が続きますが、春はすぐそこまで来ています。

約1か月後には、南部中学校、朝日丘小学校、十二町小学校で卒業証書授与式が行われます。この1年間、3校の児童・生徒は様々な活動に取り組み、大きく成長してきました。各校の取組を紹介します。

## 南部中学校では・・・

生徒会では「尽くす」をテーマに、活動を行ってきました。

### ★南中グランプリ・N-1グランプリ

生徒会が中心となって企画・運営をする南中グランプリを開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、感染症に留意しながらも、コロナ禍以前のように活気ある生徒の姿が戻ってきました。今回は、ひいたくじに書かれているお題に合った人物と走る「借り人競走」や、テレビのバラエティ番組で話題になっている「学校かくれんぼ」を行いました。学年の垣根を越えて楽しむ全校生徒の姿が見られました。

また、コロナ禍以前には、学校祭で行っていた「N-1グランプリ」も復活し、南中グランプリと同日に開催しました。出場した生徒たちは、個性的で特技を生かした演技を披露し、全校生徒を楽しませました。



〔借り人競走〕



〔学校かくれんぼ〕



〔N-1グランプリ〕

### ★合唱コンクール

合唱コンクールを実施するにあたり、企画委員会を立ち上げました。企画委員会では、パートリーダー等を対象に研修会を開催しました。練習するに当たって、下級生の悩みについて上級生がアドバイスを送ったり、練習する際の注意点を共有したりしました。先輩が築き上げてきた南中の合唱文化を、絶やすことなく受け継ごうとする生徒の姿が見られました。

また、今年度の合唱コンクールは、氷見市芸術文化館で開催ということもあり、各学級がそれぞれの目標に向かって、よりよい合唱をつくり上げようとする姿が見られました。



## 朝日丘小学校では・・・

今年度、朝日丘小学校は、「笑顔いっぱい、歌声あふれる学校に」を合い言葉に、コロナ禍でできなかった「歌う」を大切にしてきました。

### ★コロナ禍でできなかった歌活動の復活★

音楽科の授業で「歌う」ことや朝の会での「今日の歌（朝の歌）」の取組が再開されました。また、式や運動会、宿泊学習、集会活動でも、元気な歌声が響き、より楽しい活動になりました。

### ★今年度の特別な活動★

7月、9月には、音楽の専門家の方から、歌唱指導をしていただきました。見る見るうちに歌声が体育館に響くようになり、子供たちの表情も笑顔になっていきました。10月の学



(宿泊学習)



(運動会)



(朝の歌)



(集会活動)



(秋の音楽会)

習発表会の午後からは、創校 150 周年記念事業として、氷見市芸術文化会館で「秋の音楽会」を行い、子供たちはステージ上で歌声を披露しました。大きな拍手をもらった子供たちは、「またやりたい」と、とても満足していました。



(歌唱指導)

## 十二町小学校では・・・

### ★挨拶運動★

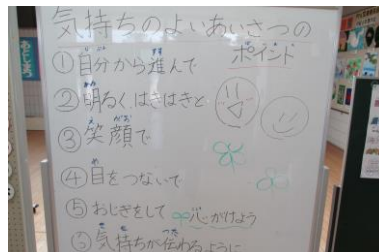
「気持ちのよいあいさつ」があふれる学校を目標に、挨拶運動に取り組みました。挨拶の目的やポイントについて全学級で話し合い、代表委員会や6年生が中心となって活動を考えました。「自分から進んで」「笑顔で」などのポイントを意識して挨拶をしたことで、気持ちのよい挨拶が学校中に響き渡りました。その際、友達のよかったところや挨拶について感じたことをカードに書き、「ほかほかあいさつの木」に掲示し、全校児童に広めました。また、友達の頑張っている姿も見付けることができました。



【ほかほかあいさつの木】



【代表委員会での話し合い】



【児童が書いた玄関ホールの掲示】



【朝の挨拶運動】

### ★メディア利用★

5・6年生が自分たちのメディア利用を振り返り、「十二町っ子メディアルール」を見直した後、児童会が中心となり全校児童に広めました。また、保健委員会では、メディアの利用の仕方と健康の関係について考える集会を開きました。メディアの利用が多すぎると脳で情報を処理しきれないことなどについて、ゲームや発表を通して全校児童に伝えました。自分たちのメディア利用について見つめ直すよい機会となりました。



【保健集会の様子】

